

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 福岡県母子福祉協会

大手門保育園

目 次

1. 令和3年度 事業報告

(1) 事業概況

(2) 参考資料

① 令和3年度事業実績報告書

② 年間行事/会議・研修実績

1 令和3年度 事業報告について

(1) 事業概況

①事業活動

ア. 管理運営

- (ア) 保育園入園申込等の個人情報の取り扱いに細心の注意を払い、適切な取り扱いを行なった。保育園利用者（保護者）に対して「苦情申出窓口」の設置・第三者委員の周知徹底を行うと共に、利用者からの苦情に対する体制を整え、福祉サービスの質の向上・社会的責任を果たせるように取り組んだ。また、育児等の相談など随時受け付け、安心して子どもを預けられる子育て支援施設として適正な保育園運営に努めた。
- (イ) 子どもの心身の健康状態や疾病等の把握のために定期的に健康診断や歯科検診・尿検査等を行い、その結果を記録するとともに保護者と連携し、日常生活に活用できるようにした。アレルギー児への対応は調理員と保育士、保護者を交えながら連携を取り細心の注意を払った。
- (ウ) 乳児室、保育室等の衛生管理に努め、採光・換気・室温の調節を適切に行った。また、保育士が感染症の媒体とならないよう自己の健康管理・手洗い・衣服等の衛生に留意しながら保育を行った。
- (エ) 園舎・園庭の危険箇所の把握・点検を行い、安全対策のために職員の役割分担・避難訓練計画の作成をし、ヒヤリハットの様式や内容を見直し、より安全管理に職員自身意識を持たせ、子どもも自ら安全に気づき生活することができるよう指導した。
- また、災害や事故発生に備え、園内外での地震・火災・水害・不審者等の避難訓練の実施やひとり親支援センターとの合同避難訓練の実施、保護者への緊急連絡体制等を整え、緊急事態時の対応ができるようにした。

イ. 乳幼児の保育について

- (ア) 乳幼児の生命の保持を図り、養護に関するねらい・内容を踏まえ、年齢に応じた保育を展開した。限られた環境の中で子どもの運動発達を促し、集団生活のルールなども身につけられるよう保育を行った。
- また、障がいのある子どもを他の子ども達が受け入れられるよう人権保育に基づいた保育を進め、担任だけではなく全職員間で意見交換など行い、園生活や遊び・行事などに参加できるようにした。
- (イ) 子ども自身が、自分で自分の活動を選び、自分のリズムで納得いくまで繰り返し活動できるモンテッソーリ活動を保育の一環として取り入れ、具体的な経験を通して基礎的な生活習慣を身につけられるよう保育を行った。
- (ウ) 食育活動として調理員が中心となり積極的に保育に入り、菜園活動や行事食・旬

の食物などの説明を通し「食」の大切さを伝えた。また、行儀やマナーなども、毎月検討し、保護者へ啓発できるよう努めた。

(エ) 年長・年中児の習字教室は、緊張しながら子どもたちは参加しているが、徐々に楽しんでいく様子が伺える。年長児になると字の習得や集中力などが養われたり、取り組む姿が意欲的になった。

(オ) 本年度は母子家庭が4世帯(内1世帯生活保護世帯)、父子家庭が1世帯のほか支援が必要な家庭もあり、基本的な生活習慣等、子どもたちの自立を促し家庭環境に配慮しながら支援活動に努めた。

また、園児の日々の園生活の姿を知らせることで、保護者が子どもの成長に気づき子育ての喜びが感じられるよう保護者の背景に留意しながら支援を行った。

ウ. 地域との交流について

(ア) 地域交流はほとんどできなかったが、年中・年長児の個人懇談や気になる保護者への育児相談等に積極的に対応した。

区の園長会では乳幼児教育現場の情報交換を行った。

(イ) 箕子地域の自治会人権尊重推進協議会の構成員となっているが、会議・研修は中止となり書面での参加となった。

(ウ) 年長児の保護者を対象とした個人面談を行い就学への不安を和らげ、子どもが小学校生活に対して期待感が持てるように助言等を行った。

エ. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

(ア) 新型コロナウイルス感染防止を目的とした対策を講じ保育を実施した。

(イ) 新型コロナウイルス感染症への偏見が生じないように、職員全員で共通認識を持つための研修等を実施した。また、最新の情報を収集し、陽性者判明後の対応が早急にできるようマニュアルを作成し職員間で周知した。

(ウ) 発熱などの体調不良が現れた場合などは自宅療養を取ってもらうよう保護者に協力を求めた。

(エ) 職員の外部研修の受講機会が減少したが、園内での会議・研修は時間やスペースの確保など実施方法を工夫しながら行った。

(オ) 地域との参加行事・子育てサロン・隣接する高齢者施設への慰問などではほとんど交流出来なかったが、行事の実施方法を工夫することで、平和の集いでの参拝・勤労感謝訪問など地域に出向いたり、小学校との交流会をオンラインで実施し就学への期待を持たせた。

② 施設・設備の改善について

(ア) 外部工事での外壁補修工事

(イ) 調理室床改修工事

(ウ) 厨房配管洗浄工事